

第 38 回関西広域連合委員会の概要

平成 25 年 11 月 9 日
関西広域連合本部

○日 時：平成 25 年 10 月 24 日（木） 16:00～17:10

○場 所：大阪府立国際会議場 12F 1202 会議室

○出席者：井戸連合長、仁坂副連合長、山田委員、松井委員、飯泉委員、竹山委員、西嶋副委員、林副委員、塚本副委員、中村副委員、辰己部長（橋下委員代理）
連携団体（三重県、奈良県）
※協議事項①に関する説明：関西電力㈱香川取締役副社長

○議事概要

1 協議事項

① 今夏の電力需給の検証・今冬の電力需給対策について

- ・エネルギーPTより、今夏は、8月中旬に気温が35℃を超える日が続いたが、期間中における節電量は、平成22年夏比約▲11%であり、需給ひっ迫には至らなかったことなど、今夏の電力需給実績検証結果について報告があった。
- ・関西電力㈱香川取締役副社長から、今冬の電力需給見通しについて、想定需要2,576万kWに対して予備率3%を含めた供給力2,655万kWが確保できる見通しであるとの説明があった。
- ・エネルギー検討会で検証した結果、電力需給がひっ迫する恐れは低いと考えられるが、定着していると想定した節電量が着実に実施されることなどが前提となっている旨、報告された。
- ・検証結果を踏まえ、関西広域連合として、今冬の関西電力管内の企業や家庭に昨年並みの節電（平成22年冬と比べて6%削減を目安）をお願いすることを決定した。

② 中央リニア新幹線全線同時開業に関する要請について

- ・リニア中央新幹線の整備効果を最大限発揮させるため、国家プロジェクトとして、大阪までの乗り入れを推進すること、東京・大阪間の全線同時開業を実現することについて要請するとともに、関西広域連合と十分協議されるよう国に求めることとした。

③ 平成26年度国の予算編成等に対する提案について

- ・地方分権改革の推進や特区等を活用した関西における研究プロジェクトの拡充など、国の来年度予算編成の時期を捉えた提案について、原案を最終確認の後、提出することを決定した。

2 報告事項

① 関西ワールドマスタースゲームズ 2021・関西版マスタース大会について

- ・ワールドマスタースゲームズについて、9月26日に準備委員会を開催し、申し入れ書及び開催収支計画について了承、IMGAへ提出したこと、11月にIMGAの査察が行われることについて報告があった。
- ・関西版マスタースについて、PT会議を開催し、開催方法等についての検討を開始したことについて報告があった。

② 地方分権改革有識者会議における地方六団体のヒアリング結果について

- ・国の地方分権改革有識者会議（10月16日に飯泉委員出席）の概要について報告があった。
- ・国直轄国道及び河川の広域連合への移譲のあり方について、国出先機関PTにおいて検討することとした。

③ 道州制のあり方研究会第7回会合について

- ・10月21日に開催した研究会（テーマ：農業政策や警察制度）の結果について報告があった。

④ 台風第18号災害復旧支援に係る職員派遣について

- ・復旧支援に伴う職員派遣（構成府県市から滋賀県及び京都府）について報告があった。

⑤ 平成25年度「関西文化の日」の実施について

- ・11月16,17日を中心に、美術館、博物館等文化施設の入場料を無料とする取組（過去最高の513施設が参加登録）について報告があった。

⑥ 在日米国商工会議所（A C C J）との協調事業の実施結果について

- ・10月18日に実施した、在日米国商工会議所（A C C J）とのパネルディスカッションについて報告があった。

⑦ 鳥取県手話言語条例について

- ・手話が言語であるとの認識に基づき、手話の普及に関し基本理念を定めた、鳥取県手話言語条例（10月11日公布）について報告があった。

3 資料配付

① 各分野事務局等運営目標の中間報告

- ・平成25年度上半期の目標達成状況の配付。